

令和6年度 第1回平田地域協議会会議録（要約）

日 時 令和6年5月30日（木）午後1時30分～午後3時00分

場 所 平田総合支所 302号会議室

出席委員 13名

| | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 1号委員 | 長堀 恵理 | 田中井広志 | 小野寺孝延 | 佐藤 恭子 |
| | 前田 恵次 | 佐藤 善仁 | 今井さち子 | 丸山 清 |
| | 枝 春男 | 加藤佐和子 | | |
| 2号委員 | 石黒 由香 | 佐藤 正一 | 須田 祐司 | |

欠席委員 佐藤 芳紀 久松 由華

| | | |
|--------|------------------|-------|
| 酒田市出席者 | 平田総合支所長 | 阿部 司 |
| | 平田総合支所長補佐兼建設係長 | 奥山 正之 |
| | 平田総合支所長補佐兼産業係長 | 進藤 貴 |
| | 平田総合支所長補佐兼地域振興係長 | 池田 徹 |

傍 聴 者 なし

議事日程

1. 開 会
2. あいさつ
3. 委員・職員自己紹介
4. 会議録署名委員の選任
5. 報告
 - （1）令和5年度 市長への報告内容について
 - （2）令和6年度 平田総合支所関連予算について
6. 協議
 - （1）令和6年度 平田地域協議会の開催予定について
 - （2）その他
7. その他
8. 閉 会

【協議会の概要】

推薦団体の変更のため、委員1名の新たな任期の委嘱状を交付した。

令和5年度市長報告会、令和6年度平田総合支所関連予算について報告があり、今年度の地域協議会の年間計画について協議した。今年度は4回開催とし、主な内容を地域振興に係るもの及び市長に報告する地域課題について協議することとした。

【会議録（要約）】

1. 開会

- ▶事務局より開会

2. あいさつ

- ▶石黒会長あいさつ
- ▶阿部支所長あいさつ

3. 委員・職員自己紹介

- ▶委員13名と事務局4名の自己紹介

4. 会議録署名委員の選任

- ▶会議録署名委員は、これまでどおり名簿の順番に指名することとし、佐藤恭子委員を指名した。

5. 報告

（1）令和5年度 市長への報告内容について

- ▶資料に基づき石黒由香会長が説明

（2）令和6年度 平田地域関連予算について

- ▶資料に基づき池田支所長補佐が説明

○佐藤正一委員

平田地域振興事業の地域おこし協力隊活動費の1,637千円は、給与や報酬とは別の環境整備等に使う予算ということですか。

○池田支所長補佐

給与や共済費は含まれていません。隊員の旅費やレンタカー等の活用費にあたるものです。現在は活動している隊員はおりません。

○佐藤正一委員

現状は誰も赴任していないということですか。

○池田支所長補佐

そのとおりです。現在は田沢コミュニティ振興会と東陽コミュニティ振興会で1名ずつ募集しております。

○須田祐司委員

地域協力隊の人選については、田沢コミュニティ振興会の人を人選時に加わえていただきたいとの話が理事会でありました。地域に向かない方が選ばれても根付かないのではないかという理由からです。

○阿部支所長

応募があつてからの話になるが、所管する担当課には伝えたいと思う。

○枝 春男委員

市のいろいろな施設で雨漏りしているが、なかなか直すことができないと聞いています。お金がないのは大変だと思うが、昨年度の市長報告会の資料で、市長は生涯学習センターが研修施設であることをもっとPRしてほしいと言われていたようですが、確かに生涯学習センターが宿泊できる施設だということを多くの方は知らない。ただ一概にそれだけで「アイアイひらた」に宿泊施設を移すということにはならないと思う。

新しいものを作るということは大変なことで、既存のものを使っていく方向性でいかないと多くのお金がかかるので、その点を市長や財政課はどのように考えているのか、私自身が疑問に思っている。意見です。

○阿部支所長

せっかくのご意見ですので、情報提供を含めまして3点お話をさせていただきます。1点

目、令和6年度の地域振興事業の予算が5年度に減額されたものが復活している。条件ではないですが、地域が自立、自走できるようにしてください。そういうところには市でも応援する。そういった意味あいでの予算づけになっている。今年度の活動が来年度の予算内示に直結していくのかなと感じており、地域の頑張りがみられているというところでは緊張感をもって事業に取り組んでいるところです。ただ、幸いにも平田地域のいろいろな団体の動きもみても自分たちでやっていこうとする姿勢が見えるので頼もしく感じている。

2点目は市全体の公共施設の老朽化が進んでいるが、古い施設の削減が進んでいない。昨日平田と松山のエリアを対象とした公共施設適正化の懇談会が行われた。平田からは自治会長会の佐藤会長がメンバーに選ばれた。今回対象の施設は、平田地域では総合庁舎とタウンセンター、農村改善センター、生涯学習センターです。総務部長からは廃止を前提とした会議ではないということで、今回は具体的な話を聞くという説明がありました。この庁舎も外壁が、はがれ落ちたり空調が止まったりという問題が起きている。そのため、支所機能をどこかに移せないかという話もおそらく今後急速に進んでいくのかなと考えられる。3点目は、そういう状況での生涯学習センターの話です。昨年の3月に生涯学習センターの所管課である社会教育課と協議をし、利用者を増やすための話し合いをした。皆さんもわかると思うが、次回宿泊に使いたいかという話をされると、水道の蛇口が故障で使えない箇所があったり、お風呂が1か所使えないという現状で、この維持管理の水準が果たして適正なのかという状況も見受けられる。そういったことを考えたときに支所で何ができるかと考えると、何とか宿泊施設も含めた小中学生、小中学校の利用を増やすということになる。昨日も職員が市内の中学校を訪問し、自分たちで作ったチラシで施設の紹介をして利用者目線でのPRをした。伺った中学校の教頭先生からは、自分は松山出身だが、そういった機能があるとは知らなかったという先生もいた。将来的にはいい感触かなと担当者と話をしている。

○枝 春男委員

この間、文化センターへ行ったら職員からホールのつりもので不要なものはないかと聞かれた。必要だからあるのに、壊れていないものを取り外すためにお金をかけようとする考えには疑問を感じる。

○須田祐司委員

去年か、おとしに生涯学習センターのエアコンが更新時期との理由で全面的に改修された。まだ故障していなかったはずである。センターには既存で使えない場所や雨漏りがあるのにどうしてそのような予算になるのか疑問である。それは無駄遣いではないですか。

○阿部支所長

そういうことがあるので、壊れている水道栓も修理費が無いということで、支所で材料を調達してこの間、職員が直してきました。

○須田祐司委員

6月6、7日に南平田小の4年生が自然体験教室で生涯学習センターに宿泊する。風呂はふたつあるが、ひとつは故障している。男女が30名いると、お風呂ひとつでは大変である。支所が所管課でないのどうすることもできないことは知っているが早急に直していただきたい。

○小野寺孝延委員

以前在籍した地域おこし協力隊員についてですが、活動していた地域が私とは違うのであまり活動が見えなかった。活動を評価する方法は難しいと思う。私は成果報酬があってもよいと思う。

そのほかに例えば、雨漏りの修繕などは地域で退職した資格を持っている人材を募集し、直してもらおうということも方法のひとつなのではないかと思う。なかなかそういった人たちを募集して修繕を行うということは手続き的にも難しいと思うが、そのような方法で直す形で予算を要求してみてもいいかなと思います。

○須田祐司委員

生涯学習センターの利用料金は、平田の人は減免されて無料、平田以外の人を利用する場合は減免されない。平田の人も同じように負担して、それで少しでも施設を維持管理するようにしたほうがよいのではないですか。

○阿部支所長

4、5年前に市の公共施設の使用料改定を行っています。それから数年たったということで今年度は改定作業を行っております。それにあわせて減免の規定も改定作業が行われ、来年度から施行される予定です。

○丸山清副会長

筋力トレーニング室の利用料金は市内にあるトレーニング施設と比べると非常に安いと思います。新しいマシンもあるが、狭さは感じる。利用料金の最適化が図られればよいと思う。

○阿部支所長

ご意見として承ります。あの施設は所管が健康課になります。管理をこちらでしている。意見は伝えます。

○枝 春男委員

3、4年前タウンセンターの利用料金が決まった時に利用率で決まると聞いていたが、酒田の文化センターなどと平田の施設の利用率を比べたら平田の施設の利用率はとても低い。それで料金を簡単に決められても困る。例えばシアターOZは、当初1時間千円から2千円になった。文化センターは7千円の据え置きになった。理由は利用率の差だということである。冷暖房費を含めて8時間利用するとOZは1万6千円、文化センターは1万4千円。平田の方が高くなる。収容人数は文化センターが2倍である。簡単に利用率で決められるものではないと思うが、それだけで決められては支所地域は困ると思う。

生涯学習センターも同じ事がいえる。そうならないように要望です。

○佐藤正一委員

さきほどのスポーツジムには最初に利用説明会があると聞いているが、その後、指導員はいないのですか。

○石黒由香会長

いないです。安全に使うための講習を受講した人でないと利用できません。そのため、サポートがつかないと危険な器具は置いていません。

6 協議

(1) 令和6年度平田地域協議会の開催予定について

▶資料に基づき阿部支所長が説明

了承。質問なし

(2) その他

○石黒由香会長

(2) その他ですが、私の方からお伺いします。昨年度の報告会への意見のまとめは、「除雪」「軽トラ市」「地域と小・中学校との相互交流」などをメインにして報告したが、今年度はこの3つをこのまま持ち越して話し合うか、見切りをつけるものは見切りをつけて新たなものを話し合うか、ご意見を伺いたいと思う。

○須田祐司委員

この会は実行団体ではないので提案しかできない。このまま継続しても、同じような意見しかでてこないと思う。

○石黒由香会長

特に除雪関係は行き詰まっている感じがする。軽トラ市に関しても昨年自治会長会の会議に副会長と参加させていただき、地域協議会で軽トラ市のようなものを

コミュニティ振興会で協力して実施できればと提案したが、ひとつの自治会しか賛成をいただけなかった。軽トラ市もこの協議会でまとめて何かやるというのは非常に難しいと感じた。

○丸山清副会長

軽トラ市はひとつにする必要がないのかなと思った。やれるところがやれることをやったほうがいいと感じた。実際やっているところもあるので、もう少し拡大して、まつりの時にやってみるとか。希望のあるコミュニティ振興会には伝えました。

除雪も参考に八幡へ聞いたが、幸い去年は雪が少なくて問題はなかった。今のところは除雪を頼むとやってもらえているので、あまり問題になっていないようだ。除雪と軽トラ市については、リセットするのもいいのではないかと会長とは話をしていた。

○石黒由香会長

地域と小・中学校との相互交流については連携しつつ、子供たちとつながりながら取り組んでいけたらと思っている。

○丸山清副会長

中学校は地域との「わくわくラボ」という活動が年に12回位ある。今日は1回目では会長と私が行ってきた。小学校の地域とのクラブ活動にも行っていてその時は一輪車のクラブなどをやっていた。その中から出てくる子供たちが感じているものをこの会に持って来れたらと思っている。

○石黒由香会長

今の時点でやってみたいものがある方はいらっしゃいますか。

○長堀恵理委員

去年は中学生と田沢コミュニティ振興会が、文化祭でも煮の販売を行った。急に決まり申し訳なかったが、当日7、8人が参加してくれた。盛り付けや販売、声出しをやってもらい、目標の200食完売を達成することができた。今年はやるのであれば、早めに計画を立て、小中学生とやりたいと農政部会長と話をしている。

○小野寺孝延委員

さきほどのふたつはリセットでよいと思う。今の煮の件だけでなく、何をしたらよいかかわからないのであれば、子供たちから来てもらうのではなく、こちらから自分たちが小中学校の会議に行き参加し、子供たちが真剣に考えていることについて取り組んでみてもよいと思う。

○石黒由香会長

中学校の「わくわくラボ」には毎回私が出席する予定です。小学校も地域づくりの授業があって秋ごろに発表会がある。お願いすれば、この協議会のメンバーも参加させてもらうことは可能だと思う。

○佐藤正一委員

継続して行うのは難しい。この協議会で提案しても難しいとなるのはわかる。だから、できる人ができることをやって、PRして町がにぎやかになる。ならなくても、楽しい幸せ度合いが高まるようなことができたらいと思う。私は里山の会に入っている。土曜日1時間半ほどのボランティアですが、メンバーがだんだん高齢化になってきて、人数が少ない。最近の傾向としてイベントをするとその時だけは来る。しかし継続的に毎月行うことは難しい。持続させることは難しい時代だと感じる。だから、できることから、できる人が楽しんでやっている、と情報を発信しながら、やるしかないのかなという感じがする。

○須田祐司委員

緑環境税の使途である木育に私は携わっているが、使い道がなく、余計にお金をかけている感覚がある。だから今の小中学校に木育の予算を持ってこれないか、山形県の予算を使って酒田市の事業ができないかと橋渡しみたいなことを地域協議会ができないかなと考えている。

○長堀恵理委員

平田の5つのコミュニティ振興会では、田沢以外は農業関係の部会がないため、軽トラ市を提案しても、ほかのコミュニティ振興会では反応が良くなかった。そのため田沢では、自分たちだけでやろうと考えている。しかし自分たちだけでは提供できる野菜や山菜の数が少ないため、田沢のものでなくても、少量でもよいのでみなさんに提供していただけると助かるのでお願いしたい。

○枝 春男委員

平田タウンニュースなどを利用して情報提供して、PRしたほうがよい。

○佐藤正一委員

市の広報への折り込みチラシの締切時期はどのようなものか。

○阿部支所長

締切時期は酒田市全域への折り込みとなるとかなり早めですが、平田管内だけの折り込みであれば、支所の職員が対応するので、2、3日前でも可能だと思う。

○枝 春男委員

早めにタウン誌の催しものに掲載するなどしたらよいと思う。

○今井さち子委員

昨年度デマンドタクシーのコースについて見直しを行うということを前支所長から聞いていたが、そのような話は今出ていないか。以前、冬にデマンドタクシーを頼んで、行き違いがあり、時間で乗れなかった方がいたこととデマンドタクシーは利用しづらいということが民生委員の中で話になった。

また、るんるんバスのコースと時刻がわからないので、情報を教えていただきたい。

○阿部支所長

デマンドタクシーの見直しの件は、今年度見直しを行っているか具体的なことはわからないが、昨年度から各地区から要望は出されているので、担当課で検討することになっているようだ。具体的には次回まで確認するが、委託をしている会社のドライバーさんの人手不足ということで苦勞しているようだ。

るんるんバスの時刻は、支所にお問い合わせください。ホームページにも載っていますし、支所に時刻表もあります。

(2) その他

▶特になし

7. その他

▶車賃の支払いの事務連絡

8. 閉 会

▶丸山清副会長閉会